ウィンターキャンフin兵庫

【帯同コーチ】 杉村・永谷・大島・木村・佐藤

【キャンプの狙い】

◆フットサルを通じての人間形成

普段とは違った仲間、環境で良い刺激を受け、今よりフットボール を好きになる機会とする。

◆団体生活

親元を離れ、自分の事は自分ですることにより自己管理を知り、仲間との助け合いながら団体行動を学び、自立心を育む。



日程

【初 日】 ライフスキルラーニング フットサルトレーニング レクリエーション 【2日目】 バンフジュニアリーグ

宿泊 大自然の中の丸太で作られたロッジ

二段ベッドにテンションは上がります







食事風景 食べられる分だけ食器に自分でとるというお約束



ライフスキルラーニング

◆ハートビーイング

ハートの中にポジティブな言葉を書き出しそれを使い行動するア クティと呼ばれる信頼関係つくりのワークです。

◆マジックミラー(右写真)

ルールは 10 人前後で内向きの輪になって手をつなぎフラフープを全員くぐり抜け、手を放さずに同じ内向きになること。

ゲーム形式の課題の解決方法は色々あります。目的は方法を探す中でのコミュニケーションのあり方です。真剣なほど方法にとらわれて協力を忘れ誰かを責めてしまう。チームの中での関わり方を知る大切な学びの機会です。



フットサルトレーニング

ライフスキルラーニングで心と身体を温めた後にいい状態でトレーニングに移行します。普段のスクールでは低学年、高学年の区切りで同じ担当コーチがレッスンを行っていますが合宿ではじめて教わるコーチの場合もあります。そして本人が刺激を受け易い練習仲間が全てライバルとなるカテゴリのトレーニング班分けにしています。

環境が変わることによって普段通用することがしなくなったり、チームメイトのパスに精度があったとしてもレベルが上がる分だけ相手チームの守備が厳しく、フットサルの難しさは維持され新しい課題が見えてくる。同じフットサルをしても多くの変化が生まれているのです。



レクリエーション 各々が遊具を使って遊びました。最後は白熱のドッヂボール。







バンフジュニアリーグ

◆他の試合の行方が気になり目が釘づけ



◆高学年入賞者の面々



個人勝ち点方式で競うリーグ戦です。上位入賞者には名古屋オーシャンズの選手たちのサイン入りグッズが進呈されます。 勝ち点はチームが勝たなければもらえないので、チームメイトとのコミュニケーションやチームプレーが鍵です。 試合数が進むにつれ運だけではない実力の表れる結果になっていくのは面白いものです。

編集後記

今回の合宿には夏の海水浴のようなフットサル以外の目玉イベントらしいものはありませんでした。しかしそれは大人からみたらそう思えるだけで子供たちには大人が忘れかけた「楽しみを見つけ出す能力」があることを教えてもらいました。ロッジは二段ベッド仕様で中二階のような物置スペースがあり、まるでアスレチックのような内装で私の担当部屋の子供たちはかくれんぼで遊んだり、部屋に入る合言葉を決めたりと元気いっぱい遊んでいました。時間をともにすれば受け入れる子供たちの柔軟さはすがすがしく、今回知り合った他校の仲間とまた会おうと約束する姿にコーチにとってもステキな思い出になりました。